

特別支援学校の 図書館アレコレ

伊那養護学校

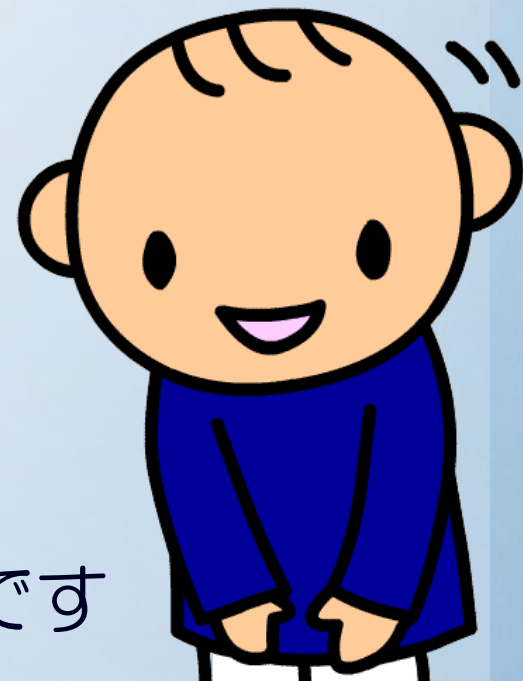
谷 美也子



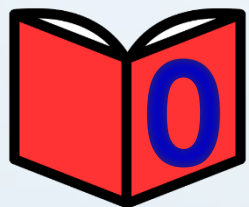
よろしくおねがいします

高等部 3年担任

校務分掌：教科支援係
(教科書・図書含む)
司書教諭

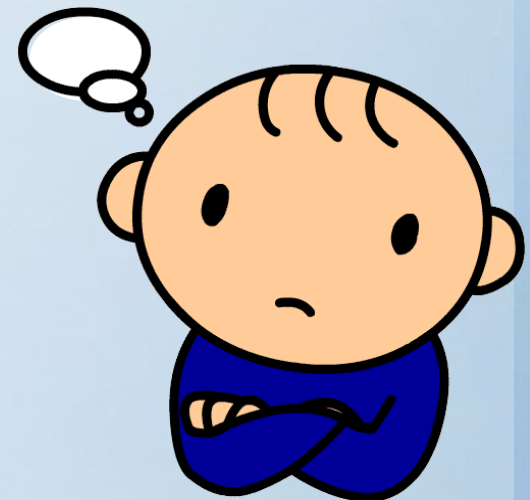
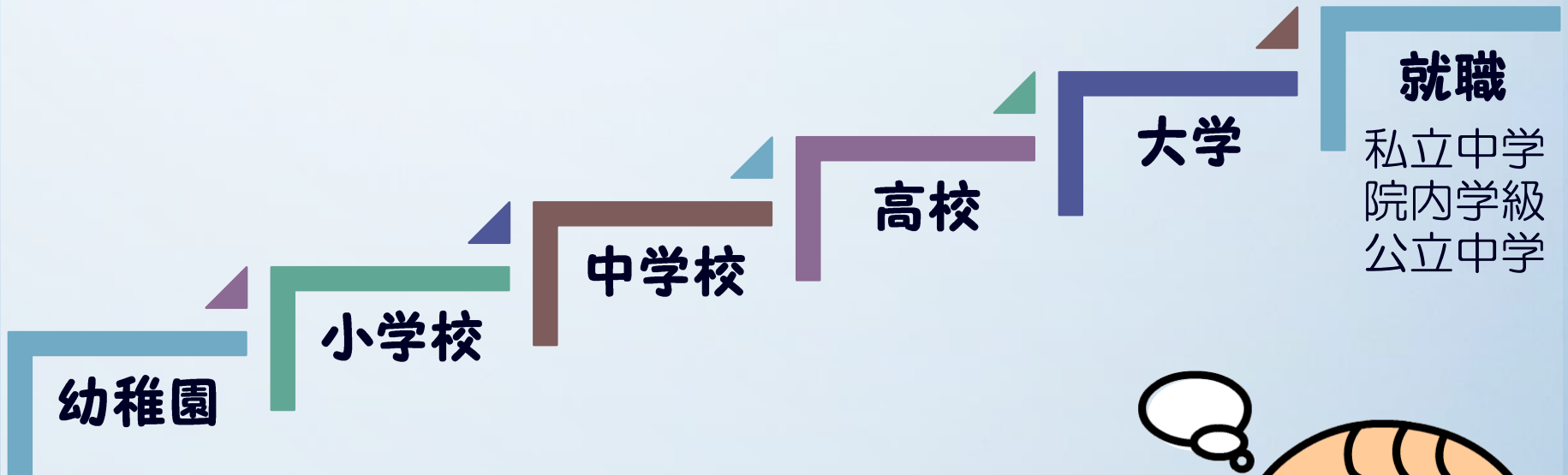


* 専門は服飾美術です



どうして学校図書館か？

普通の教員の素朴な疑問から





もってるんです、でもないんです



飯山養護学校
長野盲学校
長野養護学校
若槻養護学校
稻荷山養護学校
長野ろう学校
上田養護学校
小諸養護学校
安曇養護学校
松本養護学校
松本盲学校
松本ろう学校
寿台養護学校
諏訪養護学校
花田養護学校
伊那養護学校
木曾養護学校
飯田養護学校

18校

木曾養護学校

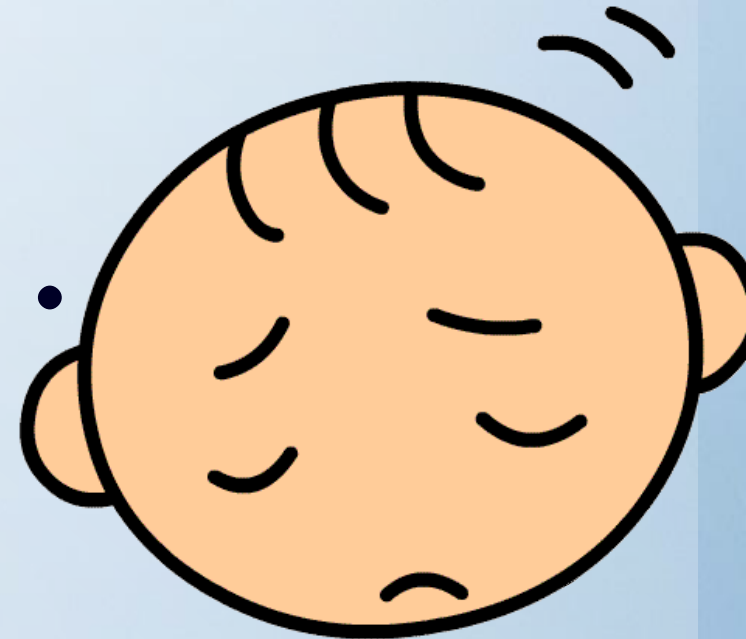


伊那養護学校



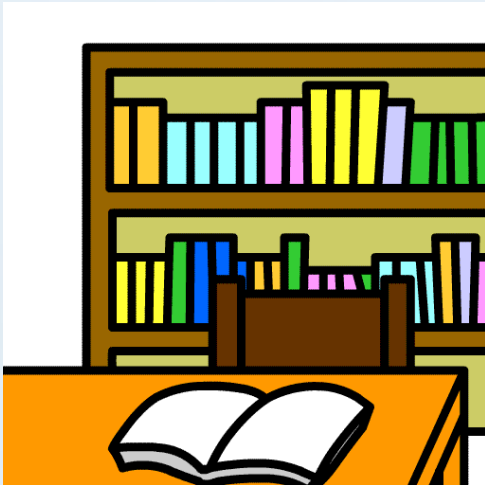
2
18

図書館がなかった・・・



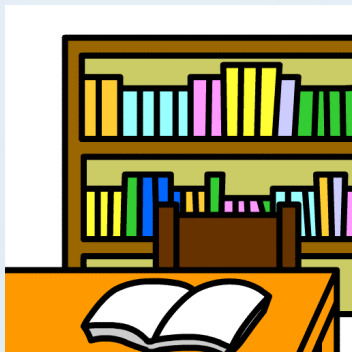
第三条

学校には、学校図書館を設けなければならない。
(学校図書館法)



第二条

この法律において「学校図書館」とは、小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）及び高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）において、図書、視聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。



図書室は・・・
いわゆる“部屋”とは限らない



● 学校図書館

盲学校、聾学校及び養護学校施設整備指針(平成11年4月・抜粋)

第2章 企画、基本設計及び実施設計

第3節 平面計画

第2 学習関係諸室

8 共通学習諸室

- (1) 各部ごとの利用内容に応じ必要な規模を確保するとともに、各教科等における多様な学習内容等に対応できるよう多
特別教室、教科教室又は専門教育関係教室との連携を考慮して計画することが望ましいこと。
- (2) 図書室等は、各部ごとの利用状況等に応じ、児童生徒等が日常的に利用しやすい位置に配置すること。その際、必要
や地域住民の学習活動における利用等に対応できるよう配慮することが望ましいこと。

【盲学校】：高等部においては、専門教育や情報教育に関する図書等のためのスペースを計画することも有効であること

- (3) 相互に隣接又は近接させて配置し、あるいは、図書、視聴覚教育メディア、コンピュータ等各種の教材・教具、設備等
に対応した多様な学習や自主的な学習などに多目的に利用できる学習センターとして計画することも有効であること。
- (4) 図書、視聴覚教育メディア、コンピュータ等を身近な場に分散配置することも有効であること。なお、その場合、各共通
明確にし、相互の連携に留意して計画すること。

第4節 各室計画

木曾養護学校



伊那養護学校

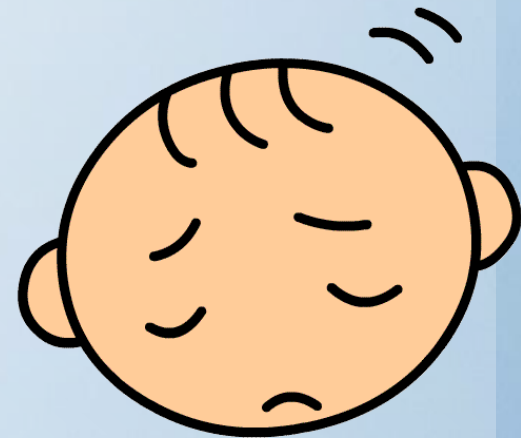


2

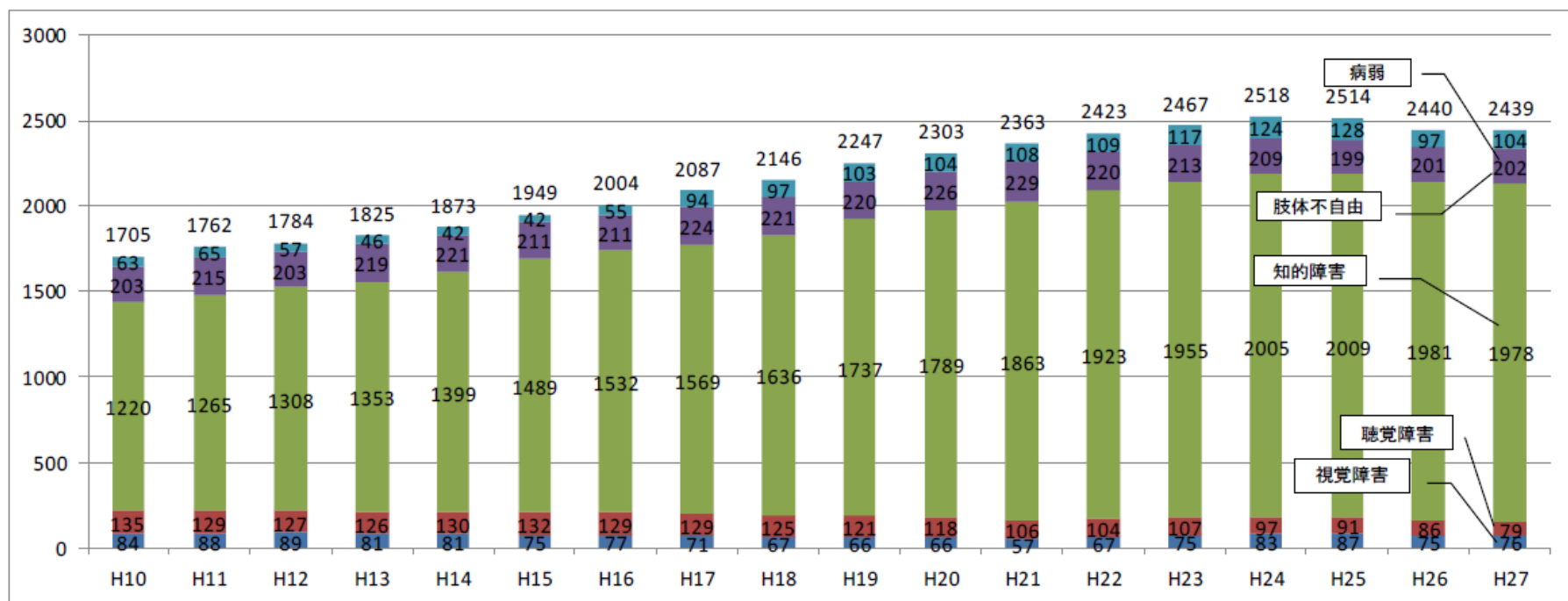
18

~~図書館がなかった・・・~~

わけではない？



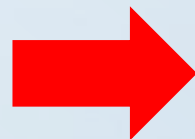
特別支援学校児童生徒数の推移



資料：長野県の特別支援教育の現状

特別支援学校児童生徒数は増加しており、知的障がい特別支援学校の児童生徒数は高い水準で推移している。

児童生徒数の増加
多様なニーズ



教室の不足

学校司書に関しても・・・

1、学校司書に関すること（第6条関係）

- (1)学校には、司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（以下「学校司書」という。）を置くよう努力しなければならないこととした。



司書教諭は18校全部に配置されている
学校司書はまだ努力義務



できました、でもないんです

木曾養護学校の事例から





○児童・生徒数(2013年)

- 小学部 児童 9名
- 中学部 生徒 11名
- 高等部 生徒 28名
- 計 48名

- 小規模特別支援学校
- 地域の特色を生かした教育課程
- 長野県で一番最後にできた
特別支援学校

それまでの様子

各教室
本棚

玄関ホール
本棚

木曾養護学校
学校図書館

高等部PC室
本棚

職員室
職員図書
コーナー

部屋はないけどコーナーで

玄関ホール
本棚

- 明るく開放的
- 腰かけられる
- 隅っこに本棚



- 今までの本棚を中心に図書コーナーを充実する
- 分類をし、利用しやすくする
- 貸し出しシステムを作る(中学部図書委員会の機能)

部屋はないけどコーナーで



校用技師さんが作ってくださった本棚

部屋はないけどコーナーで



新しい本や生徒の興味関心から選書

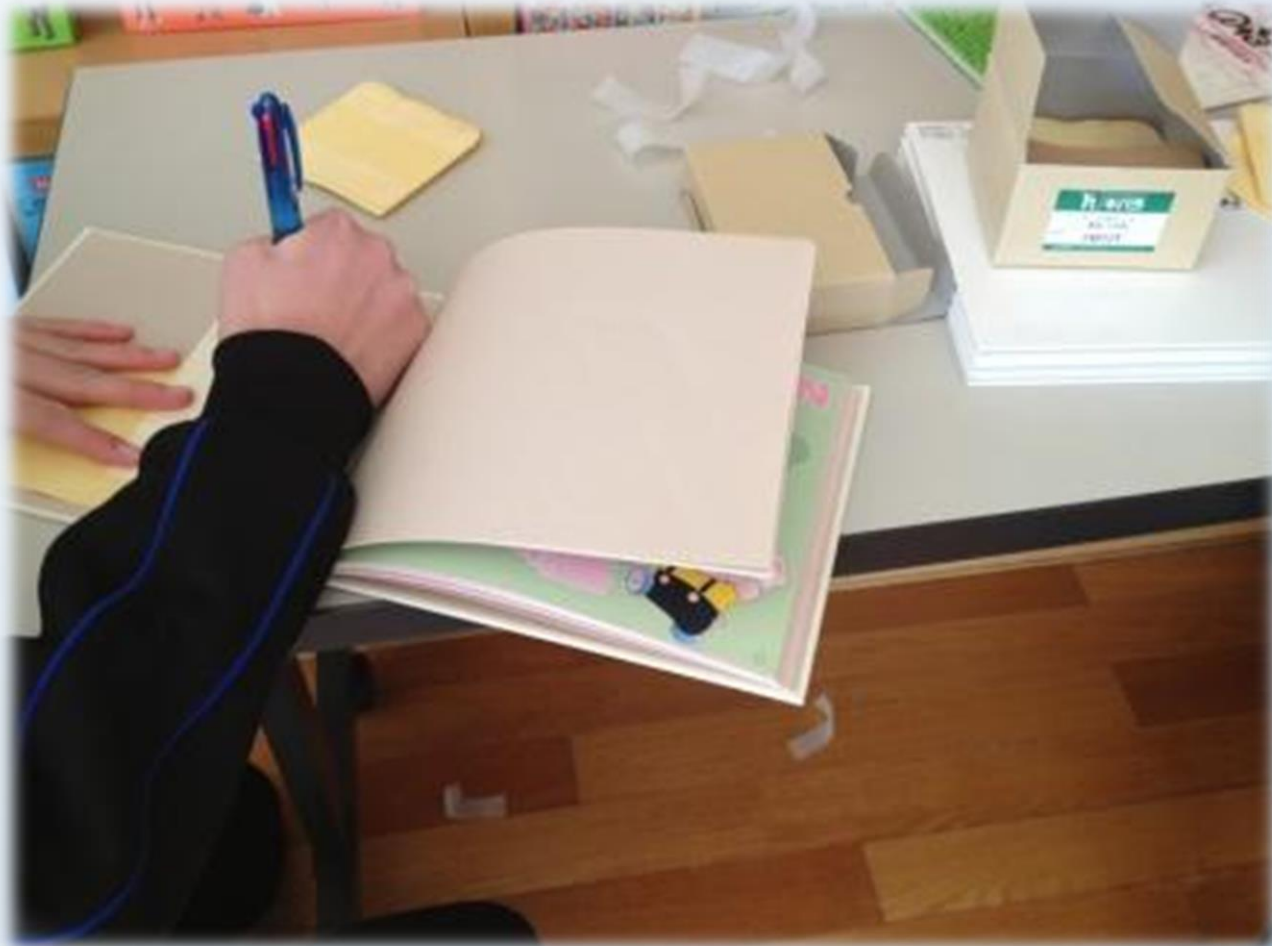


ある物を使って居心地の良い雰囲気を作る



ある物を使って居心地の良い雰囲気を作る

図書委員会の機能



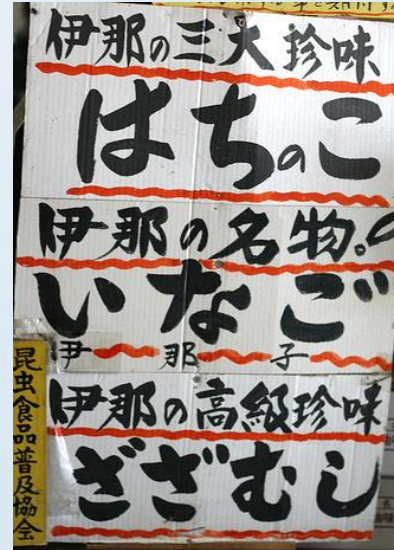
作業環境を整えることで、中学部の図書委員会の生徒が本の整備、貸出し業務ができるようになった

玄関ホールの図書コーナー



同じ玄関ホールに “御嶽海コーナー”
“松本山雅コーナー” もできたらしいです

伊那養護学校の事例から





○児童・生徒数(2016年)

• 小学部	児童	62名
• 中学部	生徒	49名
• 高等部	生徒	109名
	計	220名

- 小、中、高に分教室が設置され副学籍制度の整備など地域化推進に力を入れている。
- 今年で50周年を迎えた特別支援学校(S41開校)

それまでの様子

各部各教室
本棚

相談室一角
本棚

伊那養護学校
学校図書館

2階廊下
本棚

相談室
職員図書
コーナー

バラバラだった本を“図書室”へ

各部各教室
本棚

相談室一角
本棚

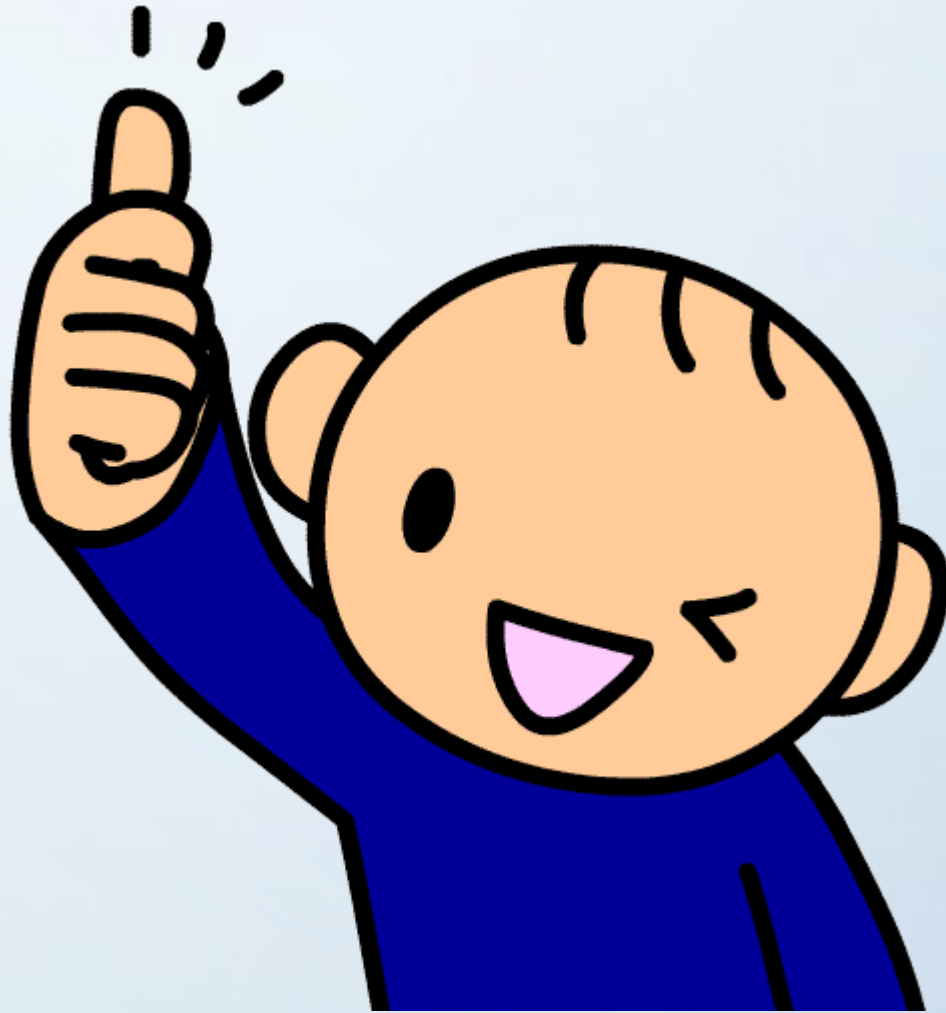
伊那養護学校
学校図書館

2階廊下
本棚

相談室
職員図書コーナー



校務分掌ゲット！



“図書室”を位置づけるために

～教室が足りなくても図書室はなくさないぞ作戦！～



教頭先生を中心に
教科支援係で
図書室の整備を
本年度の中心に！

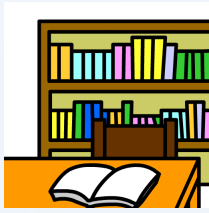
“図書室”の整備

予算の確保

貸し出しシステム

職員へのアプローチ

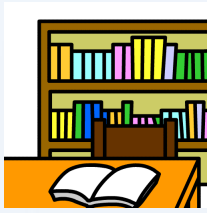
外部との連携



“図書室”の整備



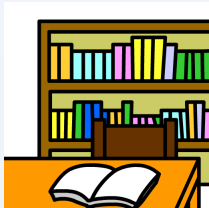
「施錠しますか？」



“図書室”の整備



どこにくつをおいたらいいか分かるように



“図書室”の整備



「学習室みたい・・・」



“図書室”の整備



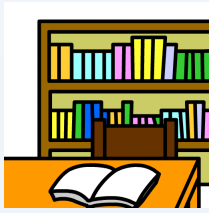
各部の児童生徒の利用の様子から



“図書室”の整備



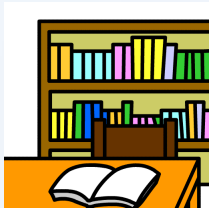
チラ見チラ読アイテムを少しずつ増やす



“図書室”の整備



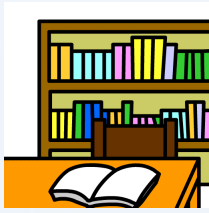
限られた予算だけれどアイデアで



“図書室”の整備



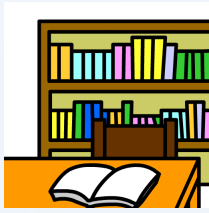
限られた予算だけれどアイデアで



“図書室”の整備



できる方法で少しずつ



予算の確保

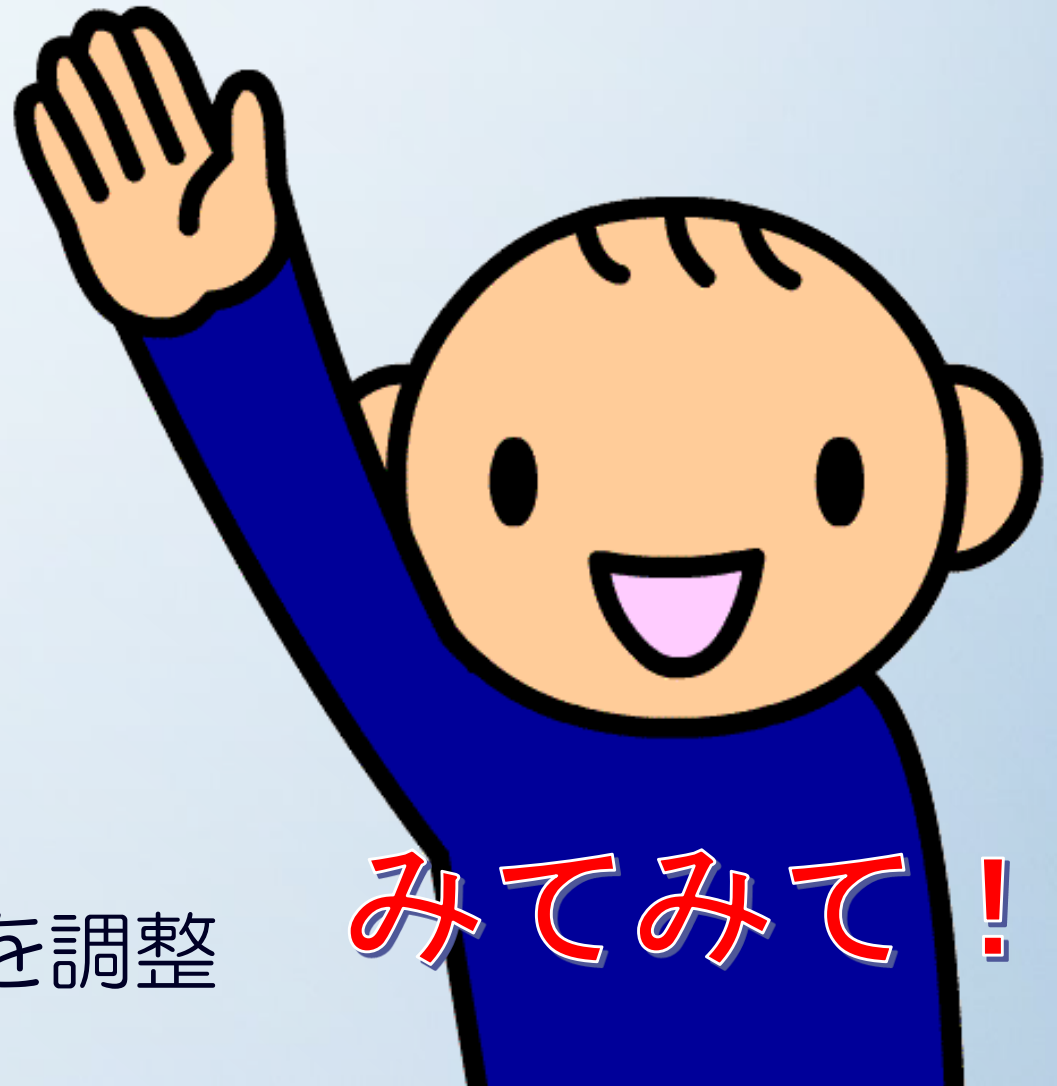
校務分掌が決まる



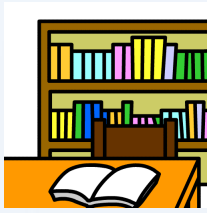
年度初めに
図書整備に必要な
物品一覧を作成



教頭先生を中心に
図書購入等の予算を調整



みてみて!



貸し出しシステム

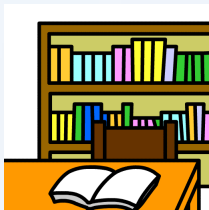
バーコード整備がない
(しばらく期待できない)



カード式へ



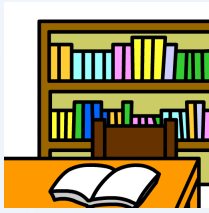
高等部生徒会活動への組み込み



貸し出しシステム

生徒が図書室の活動に参加することの意味

生徒の活動の様子
画像



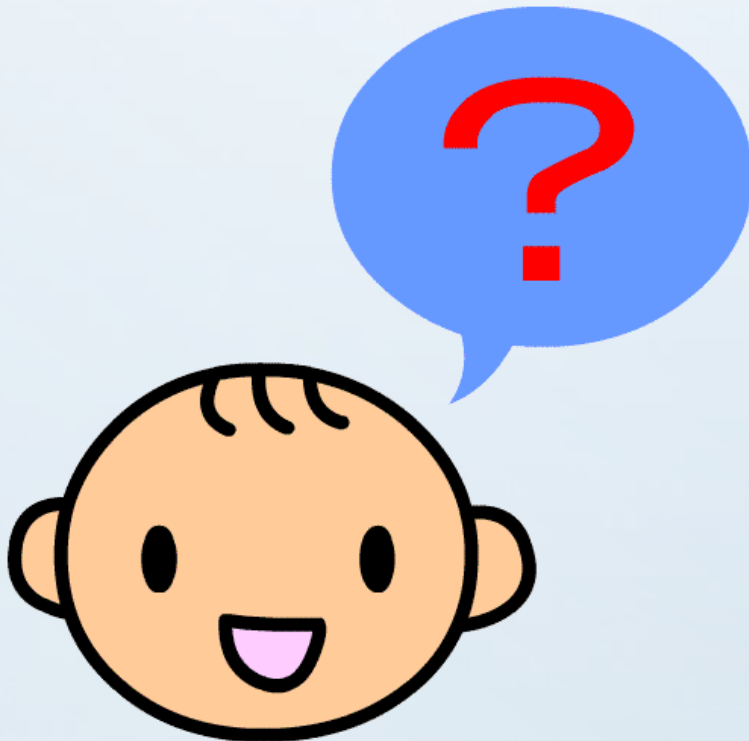
職員へのアプローチ

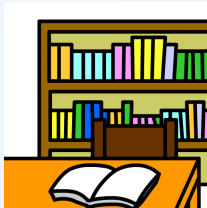
「〇〇さんの教科書をどうしたらいいかな？って思って・・・」

「〇〇の本、持ってますか？」

「特別支援に関する本ってこのあたりの本屋さんにはないですね・・・」

「ネットだと中身が見れないからなかなか買えないんです。」





職員へのアプローチ

ターゲット

先生たち
支援者・大人

ニーズ

役立つ本が欲しい
本に関する情報が欲しい

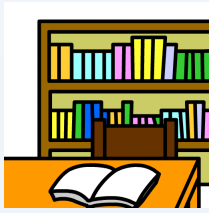


サービス

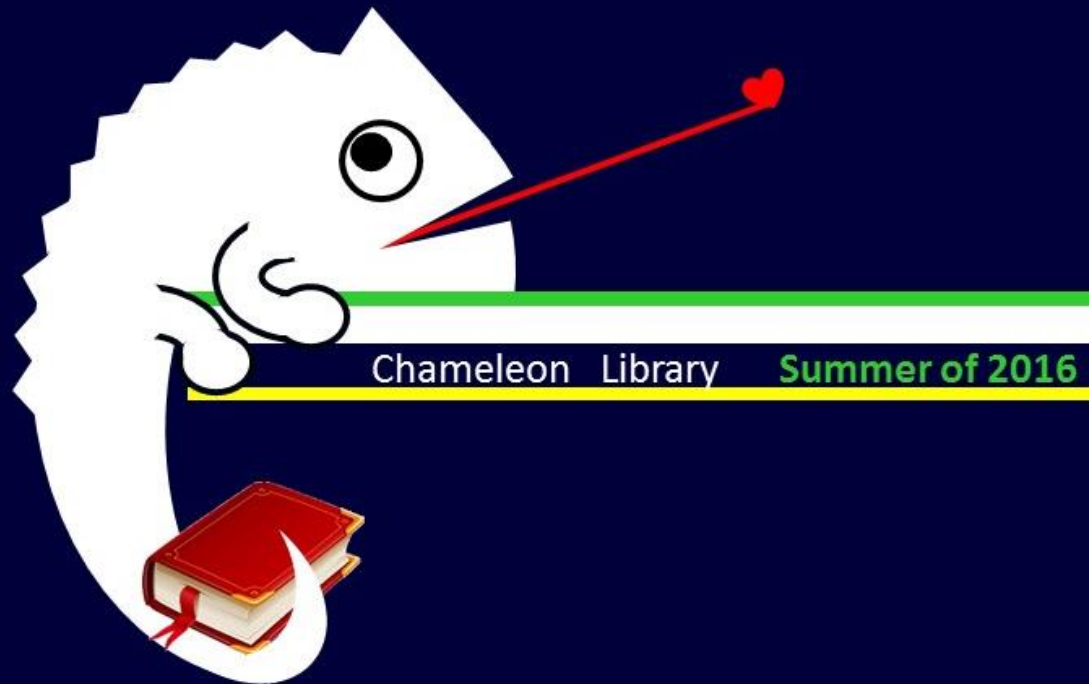
立ち読みサービス
情報の提供
興味を刺激する

具体的な方法

校内で本を集める
多様性&主体性



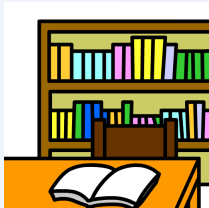
職員へのアプローチ





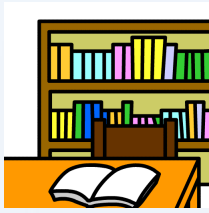
職員へのアプローチ





職員へのアプローチ





外部との連携

読み聞かせグループ

小、中、高
寄宿舎・つくし
それぞれ年2~3回



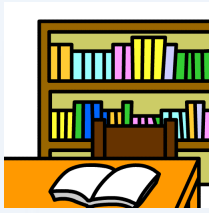
図書室の本を
利用してもらう

伊那市立図書館

団体貸出
校外学習での利用
生徒の休日利用



図書室の管理や運営
についてアドバイスを
いただけないか？
(今後の課題)



外部との連携

保護者・地域の方



図書室を知ってもらう
学校便り
本の提供の呼びかけ



教頭先生

伊那養護学校 “図書室” ができて・・・

“図書室” の整備

- 各部とも図書室に行く児童生徒が増え日課の一部になっているクラスもある
- 「できて本当によかった。」

予算の確保

- 児童生徒が利用している姿から図書購入に予算が回ってくる機会があった
- 「図書室ができたから本を」

貸し出しシステム

- 高等部生徒会活動としてシステムづくりを始めた
- 新聞掲示委員会→図書掲示委員会へ

職員へのアプローチ

- 全校反省で図書室や図書系の活動に期待するコメントが多く寄せられた
- 「職員向けライブラリーを継続してほしい」

外部との連携

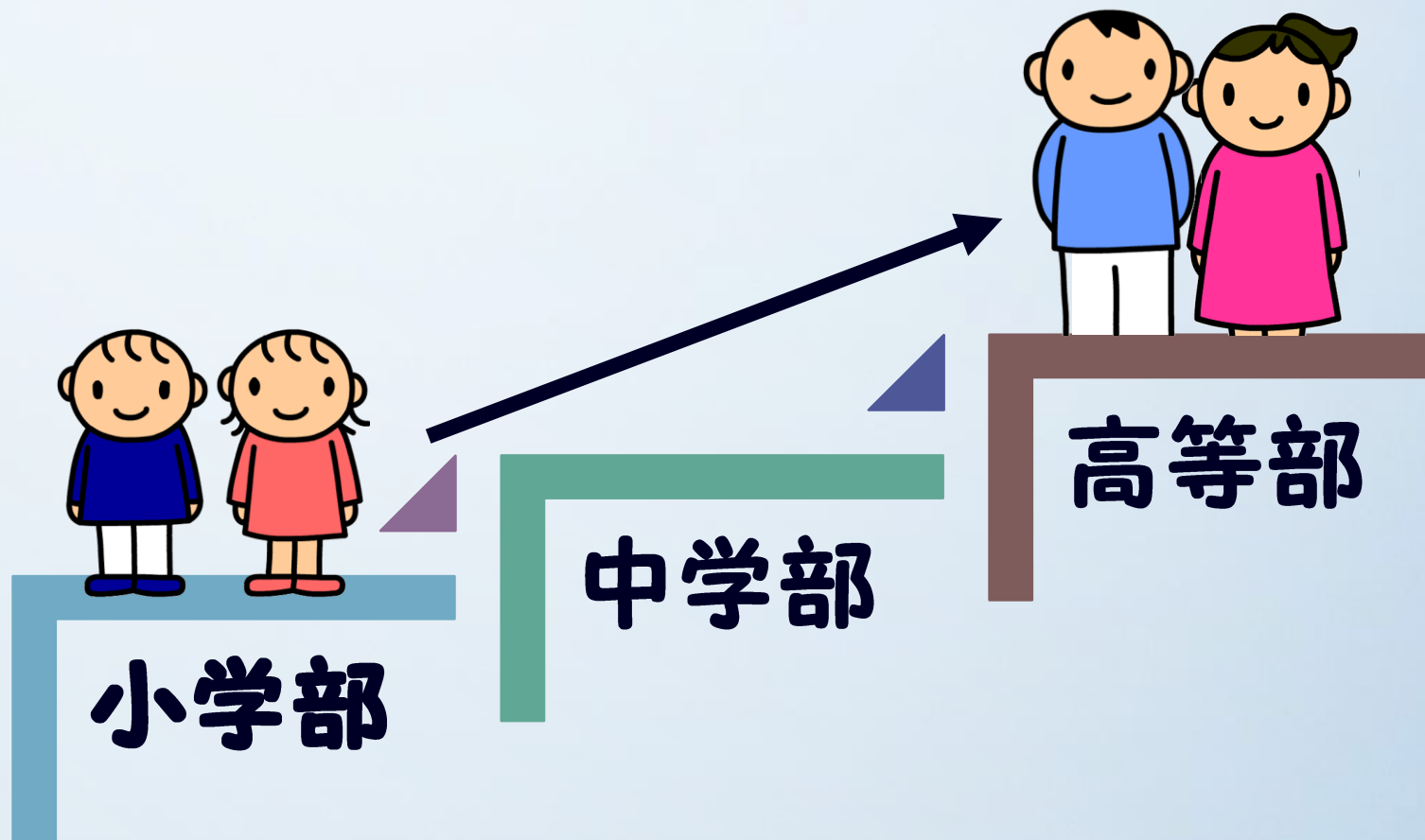
- 読み聞かせ会で図書室の本を使ってもらうようになった
- *今後の課題

居心地が良く、好きな場所のひとつへ



いつも児童生徒がいて、大事な場所なら
なくならないことを強く願って

“図書室”ができたけれど・・・?!



さまざまな発達段階の児童生徒
さまざまな個別のニーズ

所蔵メディアの種類と数

図書蔵書冊数・・・約2000冊弱

ビデオテープ

紙芝居

雑誌

CD

パネルシアター

エプロンシアター・・・10

マルチメディアDAISY

種類も数も十分ではないという現実

特別なニーズに応じたメディアや支援の工夫

生徒の授業写真

興味関心を取り入れる

さわって楽しむ

音楽をつける

味わいながら

顔の近くで見られる

文字や音声言語だけでなく五感に訴える工夫

特別なニーズに応じたメディアや支援の工夫



興味関心を取り入れる

さわって楽しめる

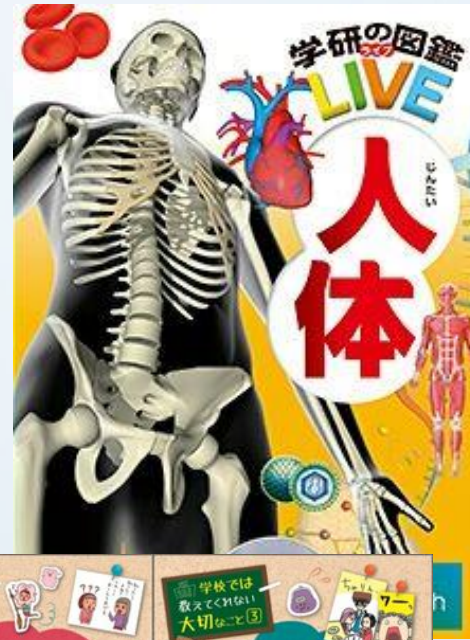
音楽をつける

味わいながら

顔の近くで見られる

文字や音声言語だけでなく五感に訴える工夫

特別なニーズに応じたメディアや支援の工夫



ルビがふってある

CD-ROMがついている

アプリで楽しめる

補助動画が見れる

イラストやマンガ

内容が分かるようにする工夫

特別なニーズに応じたメディアや支援の工夫



ルビがふいてある

CD-ROMがついている

アプリで楽しめる

補助動画が見れる

イラストやマンガ



内容が分かるようにする工夫

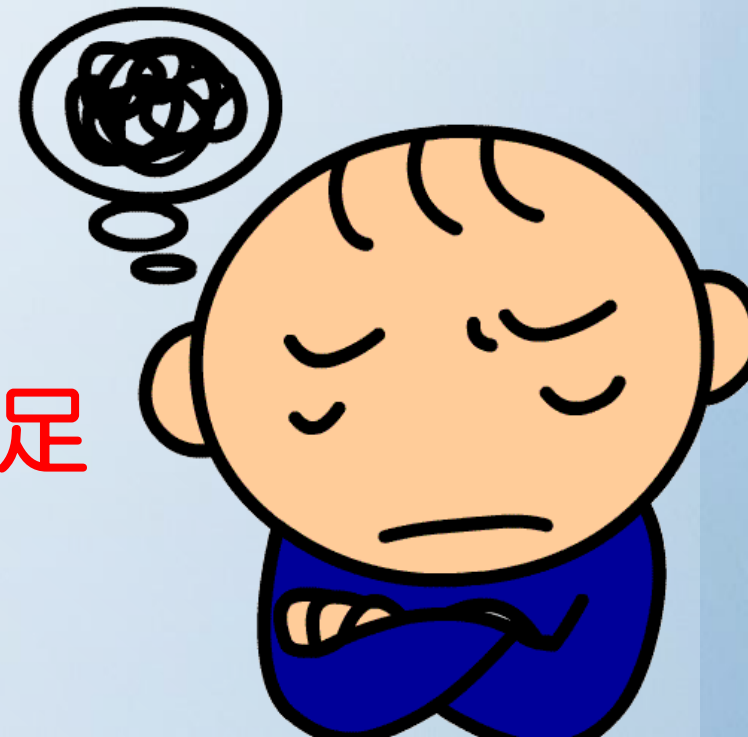
読者の障害特性とサポート方法の相関

	全盲	弱視	ろう	難聴	知的障害	肢体不自由	病弱	自閉症スペクトラム	読みの困難
単独読み補助			○ ルビ・解説		○ ルビ・解説				○ 分かち書き スリット
代読音声化	○	○			○	○	○		○
拡大化		○	○	○	○	○	○		○
デジタル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文字・音声画像情報同期	○ 音声読み上げ	○ 読み上げ 拡大	○	○	○	○ 機器利用で 単独読み	○	○	○ フォント変換
リライト		○	○	○	○	○	○	○	○
字幕要約筆記			○	○	○		○	○	
手話・サイン			○	○	○			○	
触覚情報への変換	○	○			○ 布の絵本など	○ 布の絵本など	○ 布の絵本など	○	

資料：野口武悟「一人ひとりの読書を支える学校図書館」より

図書室で楽しそうに過ごす子どもが増えたけれど
先生方は子どもに合わせて工夫しているけど

メディアの不足
具体的な支援方法の不足
人的配置の不足





声を大にして言いたい！

中学部Aさん “紙芝居をよんであげたい”

生徒の様子 動画紹介

障がいがあってもなくても願いは同じ

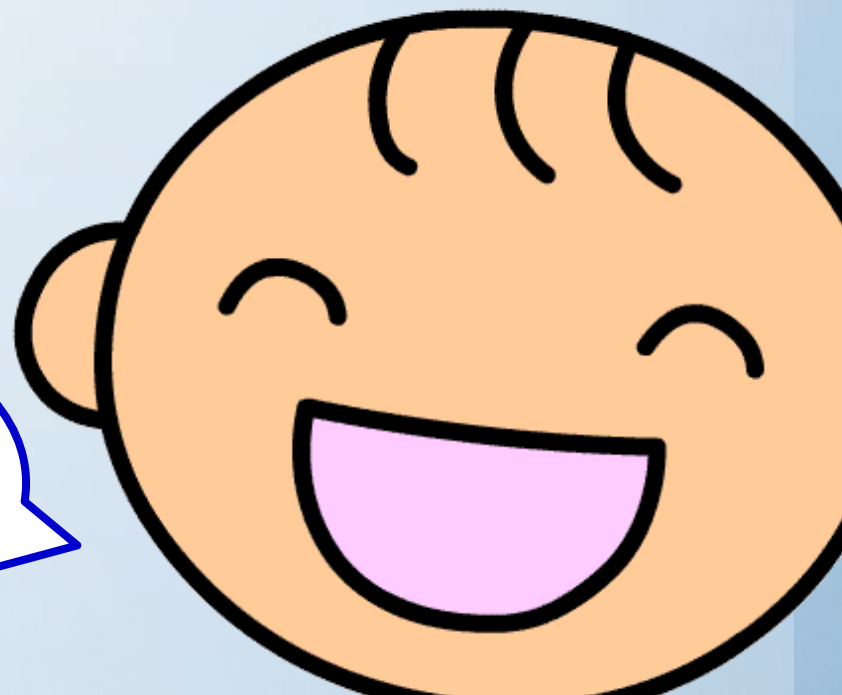
見たい!

知りたい!

聞きたい!

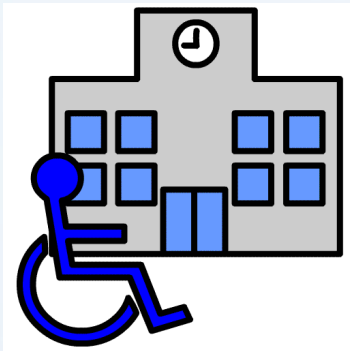
読みたい!

楽しみたい!



障がいがあることが
本を楽しむことの妨げにはならない

障がいがあることが
図書館利用の妨げにはならない

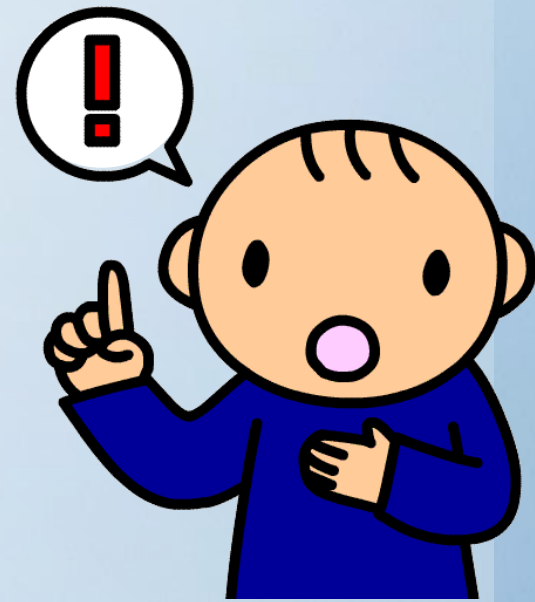


様々な発達段階と
多様なニーズのある
小・中・高の生徒がいる
特別支援学校だからこそ

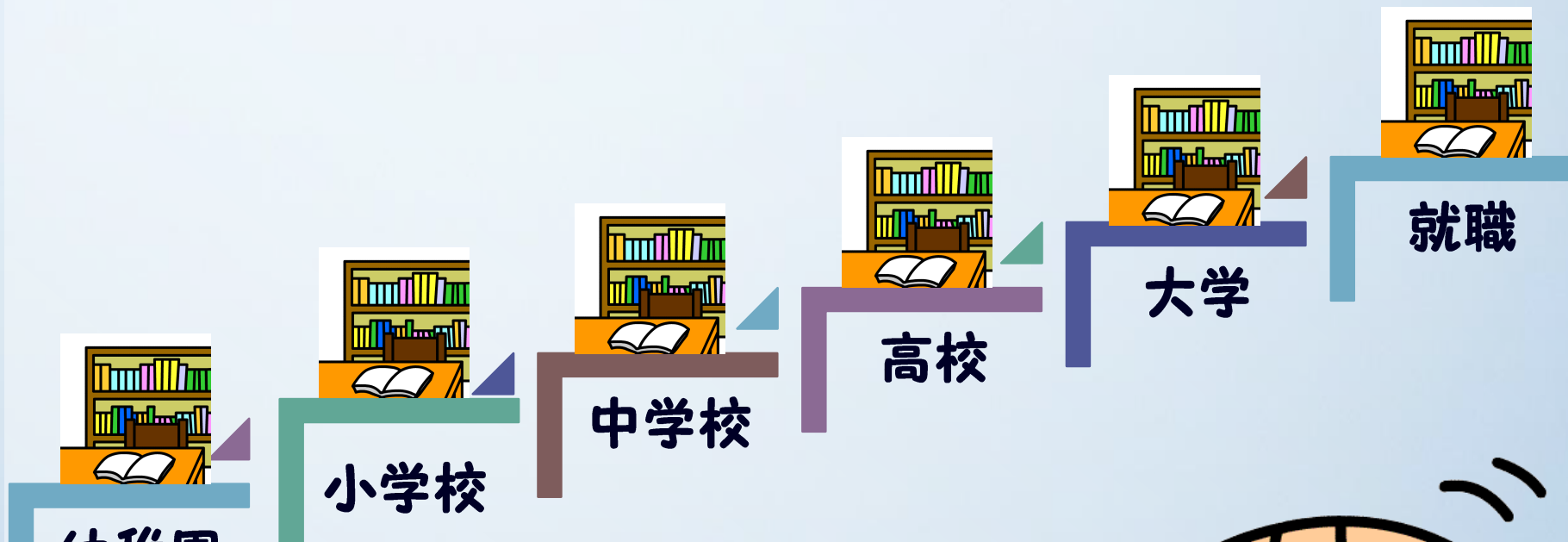
学校図書館

- 発達段階や特別なニーズに
 応じたメディア
- 特別なニーズに応じた支援

➡ 具体的な実践の積み重ねが
みんなが使いやすい図書館へつながる



声を大にして言いたい！



幼稚園
保育園

小学校

中学校

高校

大学

就職



十分な環境がない
情報保障が不十分

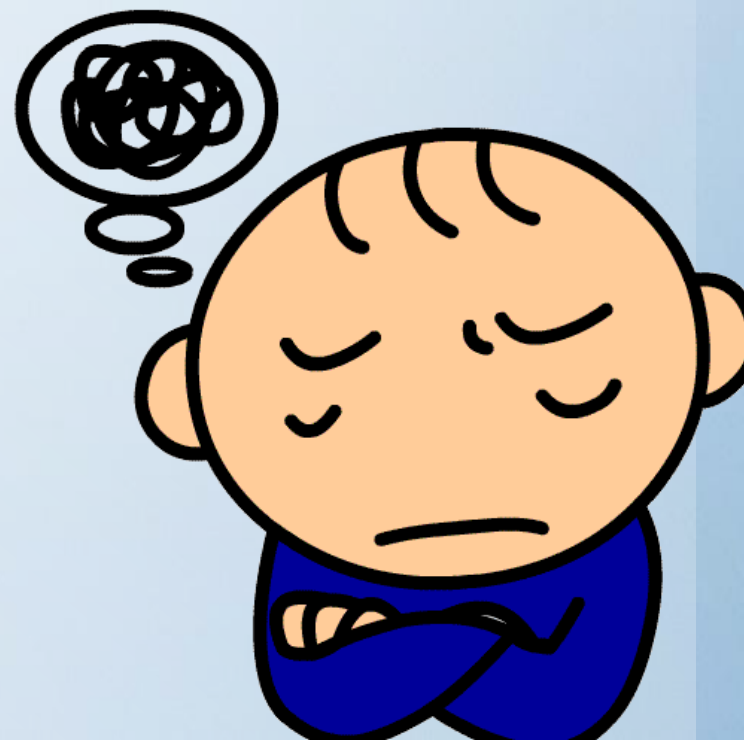




がんばればがんばるほど
ガラパゴス！？

中学校の図書委員会の活動から

- 朝の読書をしない人をチェックする
→お昼の放送で発表
- 読書週間中に各クラスごとの
貸出し数をチェックする
→お昼の放送で発表



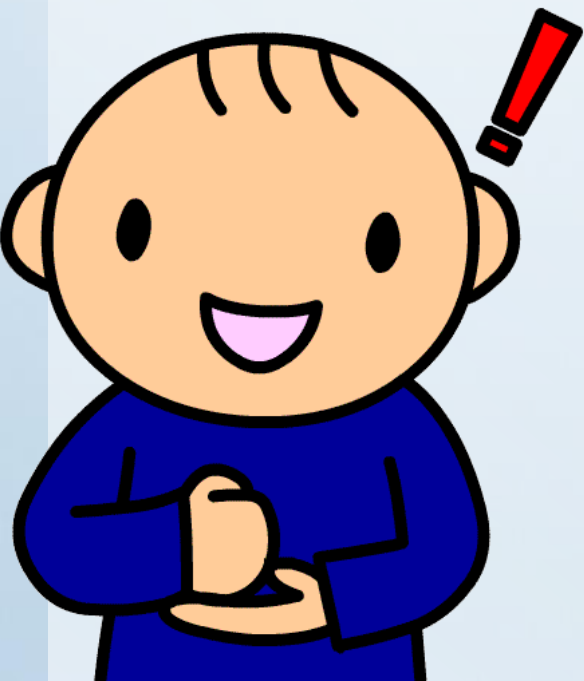
「これをすると本や図書館が好きになるかな？」



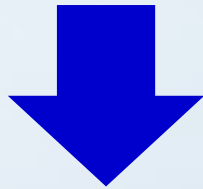
「返すのが面倒かも！？」
→ 「各階に返却箱を作ろう！」

「クラスごと交代で朝の会を
図書館でしたらどう？」

「本に中身を紹介する
帯をつけよう！」



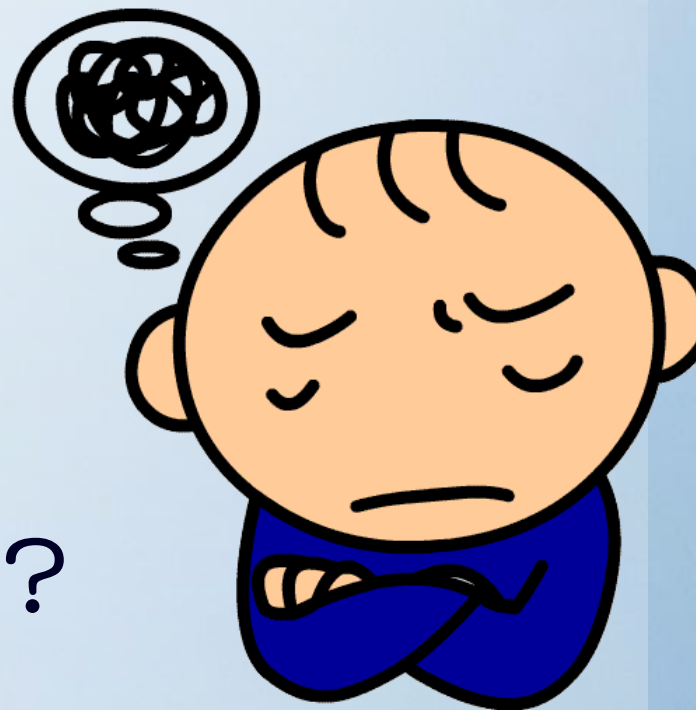
読書=良いこと
朝の読書=良いこと



一方的な価値観が
子どもを苦しめることもある

読書感想文・課題図書作文

夏休みの宿題嫌なものランキング常連



みんな気づいてる・・・！？



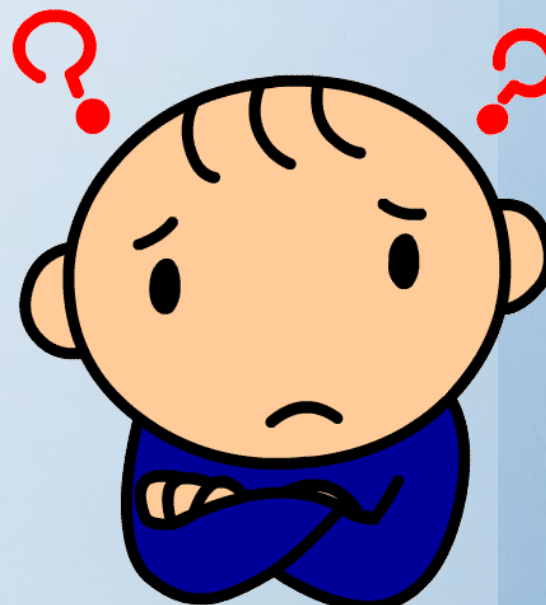
「借りたい人はノートに書く」に
違和感を感じないことへの違和感

「借りたい人はノートに書く」って?!

●学校図書館の貸し出し5つの条件

- 1 • 貸出中は、何を、いつまで、誰が借りているかがわかる
- 2 • 借りるとき、利用者が何も書かなくてすむ
- 3 • 貸出・返却の事務処理が容易である
- 4 • 予約に対処できる
- 5 • 返却後、個人の記録が残らない

書けない子どもは大人(先生)に書いてもらう
→自由に借りることができない
→どんな本を借りたのかわかってしまう

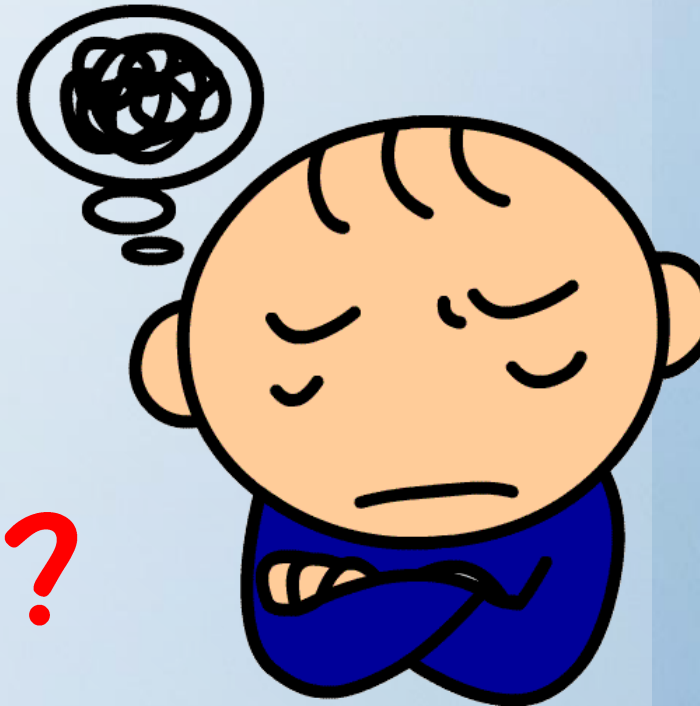


「借りたい人はノートに書く」に
違和感を感じないことへの違和感

自由

プライバシー

大きな問題では？



学校図書館と“図書館の自由”



図書館の自由に関する宣言

1973年改訂(本文)

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

学校という社会の中の違和感

図書館の自由に関する宣言

1973年改訂(本文)

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

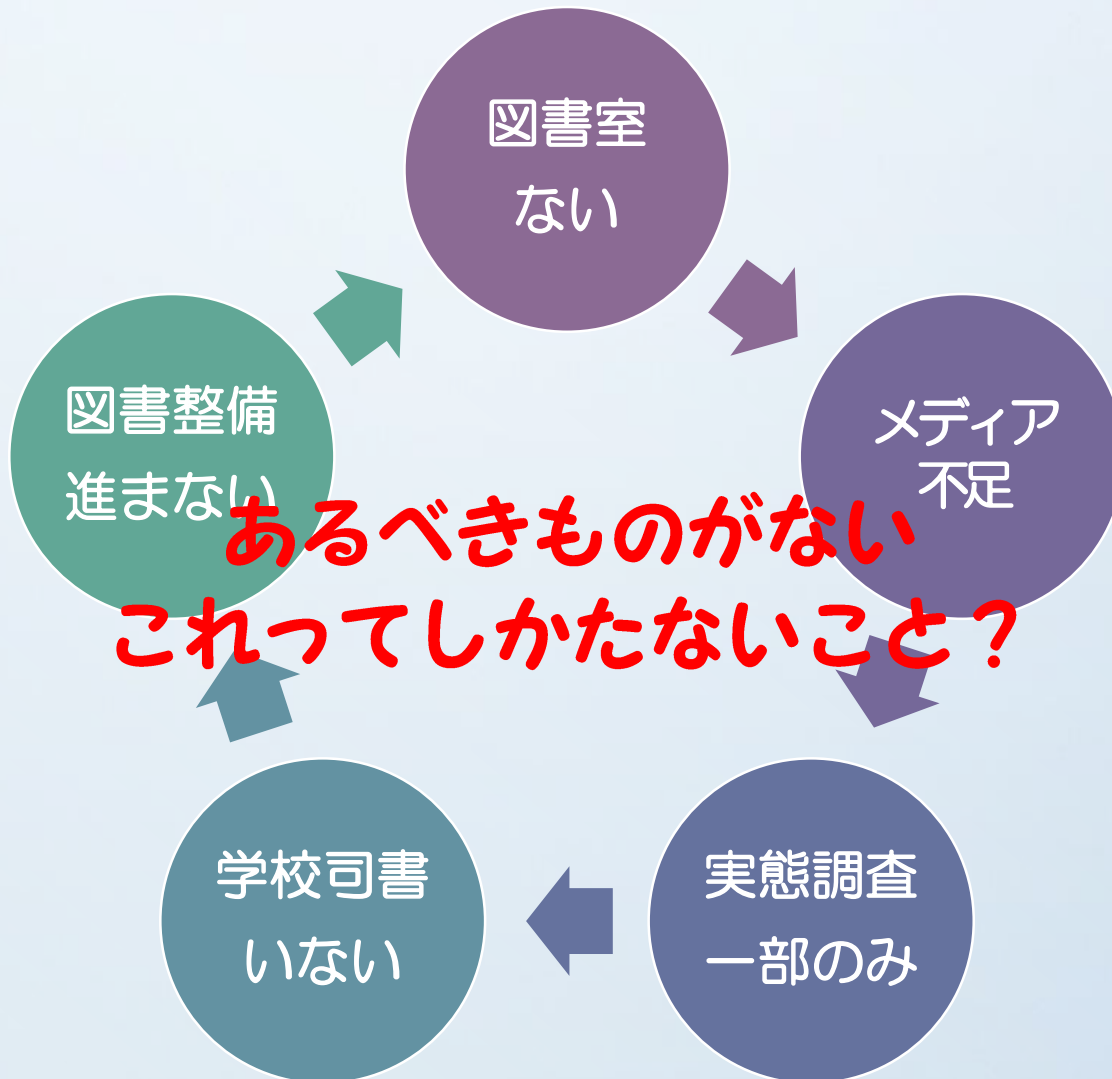
図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

“宣言” 解説書

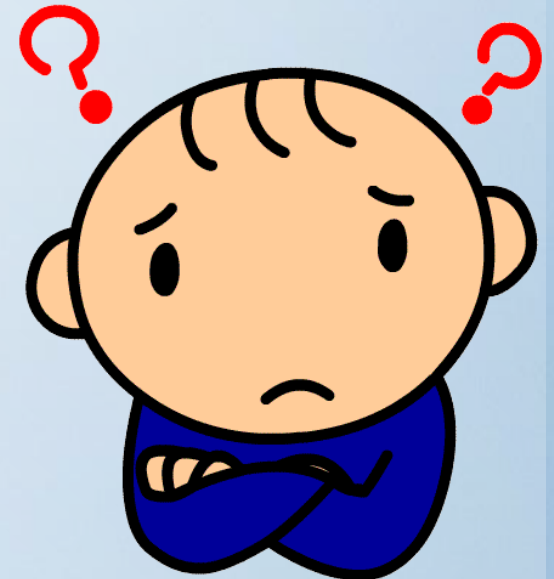
従って、読者の人格の尊重と教育指導上の要請の兼ね合いは、教員と児童・生徒の深い理解に立って解決されなければならない。

特別支援学校の中の違和感

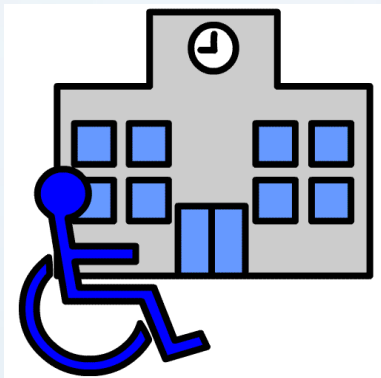


あるべきものがない
これってしかたないこと？

自由
プライバシー



学校図書館の現状に関する調査



特別支援学校は調査項目が限られている

特別支援学校を対象とする詳細調査

→1958年 全国学校図書館協議会が行った
1回のみ

→2007年 専修大学 野口武悟先生により
全国調査実施

学校図書館の現状に関する調査

表 1 学校図書館設置率

視覚	聴覚	肢体	病弱	知的	総合
100	100	89.2	95.3	82.5	93.5

表 2 学校図書館の兼用率

視覚	聴覚	肢体	病弱	知的	総合
2.0	3.0	15.7	17.1	42.1	37.2

表 5 学校司書の配置率

視覚	聴覚	肢体	病弱	知的	総合
40.8	12.1	9.6	7.3	4.1	7.0

表 9 平均蔵書数

視覚	聴覚	肢体	病弱	知的	総合
10310	7333	5030	4671	2302	3146

参考資料 (1) 公立学校における司書教諭発令状況及び学校図書館担当職員配置状況（都道府県別）

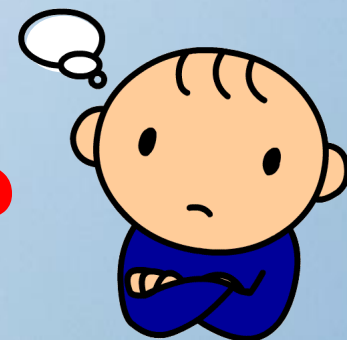
都道府県名	学校数 合計	司書教諭							学校図書館担当職員	
		司書教諭 発令 学校数 合計	12学級以上の学校			11学級以下の学校			学校図書 館担当 職員 配置学 校数	割合
			学校数	司書教諭 発令 学校数	発令率	学校 数	司書 教諭 発令 学校 数	発令率		

小	20	長野県	369	216	197	197	100.0%	172	19	11.0%	344	93.2%
---	----	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----	----	-------	-----	-------

中	20	長野県	193	107	99	99	100.0%	94	9	9.6%	173	89.6%
---	----	-----	-----	-----	----	----	--------	----	---	------	-----	-------

高	20	長野県	85	66	60	60	100.0%	25	6	24.0%	85	100.0%
---	----	-----	----	----	----	----	--------	----	---	-------	----	--------

この“差”はなんだろう？



司書教諭免許講習での悲しいできごと

“文字が読めないから”

“意味の理解が難しいから”

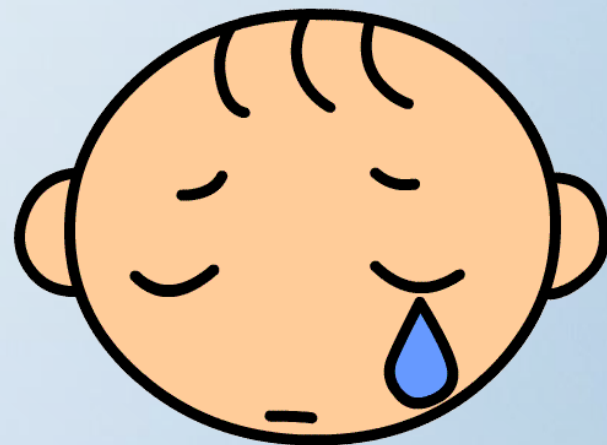


本が読めない?!

図書館の利用は難しい?!

特別支援学校での学校図書館については
どうでしょうか?

問題を軽く扱ってはいないでしょうか?



**特別支援学校の
事情もある・・・**

**こうした現実や問題を
そのままにしたくない！！
と思うのです。**



もっとシンプルに

願うことはとてもシンプルなこと



特別支援学校の学校図書館の可能性

☆ヒト×コト×モノ

外部との連携（人のつながり）でできること
枠をはずして自由な発想でサービスを提供

☆自立専任の次は・・・ 図書館ファシリテーターを！

具体を共有することでさらにつながる

☆ヒト×コト×モノでこんなこと
できたらいいな！



支援室の先生の読み聞かせ
→校長、教頭、教務、進路など



司書さんによるワークショップ
(子どもにも大人にも)



市立図書館ツアー

西箕輪支所図書コーナーの利用

学校の中の 学校らしくないみんなの場所へ



ありがとうございました

